第１学年　国語科　年間指導計画

【評価方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
方法	レポート、作品 発表 スモールステップテスト 定期考査	レポート、作品 発表 スモールステップテスト 定期考査	ノート、授業観察 レポート、作品 発表 振り返りシート スモールステップテスト

【年間指導計画】

月	単元名（題材名）	学習内容
4	朝のリレー	1 詩を通読する。 2 詩を読んで想像したことや，好きな言葉や表現を交流する。 3 詩の特徴を生かして音読する。
	野原はうたう	1 国語で何を学ぶのかを考える。 2「野原はうたう」の二つの詩を通読する。 3 速さ，声の強弱，間の取り方，言葉の調子，声の高さを変えて音読する。 4 学習を振り返る。
	声を届ける 書き留める 言葉を調べる 続けてみよう	1 音読・発表のしかたを理解する。 2 ノートの書き方，工夫のしかたを理解する。 3 辞典・事典で言葉を調べる方法を理解する。 4「言葉の手帳」を作る。 5 学習を振り返る。
5	シンシュン	1 作品を通読する。 2 作品の全体像を捉える。 3 場面の展開に沿って，二人の関係の変化を整理する。 4 読み深めた感想を交流する。 5 学習を振り返る。
	［聞く］ 情報を的確に聞き取る	1 情報を的確に聞き取る必要がある場面を挙げる。 2 ①の連絡を聞き，メモを取る。 3 効果的なメモの取り方を確かめる。 4 ②の連絡を聞き，メモを取る。 5 学習を振り返る。
	情報整理のレッスン 比較・分類	1　学習の目的を理解する。 2 情報を比較・分類する方法を確かめる。 3 問題 1～2 に取り組む。 4 学習を振り返る。
	情報を整理して書こう わかりやすく説明する	1 目的や相手を明確にして題材を決める。 2 情報を集め，整理する。 3 構成を考える。 4 下書きをし，文章にまとめる。 5 学習を振り返る。
	漢字１　漢字の組み立てと部首 漢字に親しもう１	1 導入部分を読み，漢字の組み立てに興味をもつ。 2 偏旁冠脚について理解する。 3 部首の種類について理解する。 4 漢和辞典を利用して，練習問題に取り組む。 5　P40「漢字に親しもう１」の問題に取り組む。
6	ダイコンは大きな根？	1 本文を通読する。 2 文章の中心的な部分を捉える。 3 段落の役割について考える。 4 考えたことを発表し合う。 5 学習を振り返る。
	ちょっと立ち止まって	1 本文を通読する。 2 文章の構成に着目し，要旨を捉える。 3 文章の構成に着目し，その効果を考える。 4 考えたことを伝え合う。 5 学習を振り返る。
	思考のレッスン１ 意見と根拠	1 導入の文章を読み，意見の根拠を確認することの大切さを理解する。 2 説得力のある根拠について考える。 3 意見と根拠の結び付きを考える。 4 学習を振り返る。
	話の構成を工夫しよう 好きなことをスピーチで紹介する	1 話題を決め，材料を選ぶ。 2 話の構成を考える。 3 スピーチの練習をする。 4 スピーチの会を開く。 5 学習を振り返る。
	漢字に親しもう２	1 新出漢字を確認する。 2 練習問題に取り組む。
	文法への扉１ 言葉のまとまりを考えよう	1 導入や教材文を読み，言葉のまとまりについて考える。 2　P238-241 文法 1「言葉の単位」を読む。
	情報を集めよう 情報を読み取ろう 情報を引用しよう	1 調べる内容を絞り込む。 2 調べ方を考え，情報を集める。 3 情報を読み取る。 4 情報の適切な引用のしかたを考える。 5 著作権について知る。 6 学習を振り返る。

7	詩の世界 詩を作ろう	1 作品を音読する。 2 詩を読んで，感じたことを交流する。 3 描かれた情景や表現の効果について話し合う。 4 詩のよさを発表する。 5 三編の詩の表現を参考にして，詩を作る。 6 学習を振り返る。
	比喩で広がる言葉の世界	1 本文を通読する。 2 段落の役割を押さえて読み，内容を捉える。 3 言葉について考える。 4 学習を振り返る。
	言葉 1 指示する語句と接続する語句	1 導入の課題に取り組み，指示する語句や接続する語句について関心をもつ。 2 指示する語句について理解する。 3 接続する語句について理解する。 4 学習したことを日常につなぐ。
	言葉を集めよう もっと「伝わる」表現を目ざして	1 学習の目的を理解する。 2 友達に紹介したいものを決める。 3 観点を決めて，言葉を集める。 4 100 字程度で紹介文を書く。 5 学習を振り返る。
	読書を楽しむ	1 教材文を通読し，さまざまな読書活動を知る。 2「ポップ作り」「読感想文」を夏休みに行い、提出する。
	本の中の中学生 「あと少し，もう少し」「西の魔女が死んだ」「ブラインドの向こうに見える光」 読書案内　本の世界を広げよう 読書コラム　本との出会い	1「本の中の中学生」の三編の作品を読む。 2 学校図書館などを利用して，「本の中の中学生」というテーマで一冊選び，推薦文を書く。
9	大人になれなかった弟たちに……	1 作品を通読する。 2 描写に着目して登場人物の心情を捉える。 3 題名のもつ意味について考える。 4 表記に込められた，作者の意図を考える。 5 思いを伝える朗読会をする。 6 学習を振り返る
	星の花が降るころに	1 作品を通読する。 2「私」を中心に作品の内容を押さえる。 3 場面や描写を結び付けて読む。 4 印象に残った場面や描写を語り合う。 5 学習を振り返る。
	聞き上手になろう 質問で話を引き出す	1 きき方の工夫や質問の種類を知る。 2「夏休みのいちばんの思い出」をテーマに，対話の練習をする。 3 学習を振り返る。
	項目を立てて書こう 案内文を書く	1 案内文の書き方を確かめる。 2　案内する事柄と相手を決め，情報を整理する。 3 案内文を作成する。 4 学習を振り返る。
	［推敲］読み手の立場に立つ	1 読み手の立場に立って，案内文を推敲する。 2 書きかえた案内文について，伝えようとする内容が正確に，わかりやすく書き表されているか，友達と話し合う。 3 学習を振り返る。
１０	言葉２　方言と共通語	1 導入の課題に取り組み，地域による言葉の違いについて関心をもつ。 2 教材文を読み，方言と共通語の違いを理解する。 3　「生活に生かす」を読み，方言と共通語のそれぞれの役割や特徴について理解する。
	漢字２　漢字の音訓	1 導入部分を読み，漢字の読みには「音」と「訓」があることを理解する。 2「音」と「訓」の歴史や性質を理解する。 3 漢和辞典を利用して，練習問題に取り組む。
	「言葉」をもつ鳥，シジュウカラ	1 本文を通読する。 2 文章の構成と内容を捉える。 3 論の展開に着目し，その効果を考える。 4 結論に説得力をもたせるために，どのような工夫をしているか，本文の記述や図表などを根拠として，自分の考えを文章にまとめる。 5 学習を振り返る。
	思考のレッスン２ 原因と結果	1 例題や問題 1 から，原因と結果を抜き出し，どのようにつながっているかを整理する。 2 例題や問題 2 から，原因と結果のつながりに無理がある例を確かめ，パターン別に整理する。 ３学習を振り返る。
	根拠を示して説明しよう 資料を引用してレポートを書く	1 課題を決め，調査を行う。 2 調査結果を整理し，構成を考える。 3 図表などを引用してレポートを作成する。 4 レポートを読み，評価し合う。 5 学習を振り返る。
	漢字に親しもう３	1 新出漢字を確認する。 2 練習問題に取り組む。
	［話し合い］ 話し合いの展開を捉える	1 教材文を読み，「登山研修の思い出」についての展示内容の話し合いであるという目的を確認する。 2 話し合いの例文を聞き，空欄①②に当てはまる言葉を検討する。 3 学習を振り返る。

１１	話題や展開を捉えて話し合おう グループ・ディスカッションをする	1 話し合いの話題を決め，目的を明確にする。 2 自分の考えをまとめる。 3 司会と書記を決め，グループで話し合う。 4 話し合いの結果を報告する。 5 学習を振り返る。
	音読を楽しもう　大阿蘇	1 言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する。
	音読を楽しもう　いろは歌	1 「いろは歌」を音読する。 2 「古典の世界」を読み，3 年間の古典学習について見通しをもつ。
	蓬萊の玉の枝 ――「竹取物語」から	1 作品を通読する。 2 古典の文章について，現代の文章との違いを確かめる。 3 描かれている古典の世界を想像する。 4 学習を振り返る。
	今に生きる言葉 故事成語を使って体験文を書こう	1 漢文を音読し，独特のリズムや言い回しに親しむ。 2 本文を読み，故事成語について理解する。 3 故事成語を使って，体験文を書く。 4 学習を振り返る
１２	「不便」の価値を見つめ直す 根拠を明確にして，意見をまとめよう	1 本文を通読し，内容を捉える。 2 筆者の考えを要約する。 3 根拠を明確にして，意見をまとめる。 4 学習を振り返る。
	助言を自分の文章に生かそう 作品の書評を書く	1 作品を選び，内容や魅力を分析する。 2 どの観点から論じるかを決め，書評を書く。 3 友達どうしで書評を読み，助言し合う。 4 学習を振り返る。
	漢字に親しもう４	1 新出漢字を確認する。 2 練習問題に取り組む。
	文法への扉２ 言葉の関係を考えよう	1 導入や教材文を読み，言葉の関係について考える。 2　P242-246 文法 2「文の組み立て」を読み，「文節どうしの関係」「連文節」「文の組み立て」を理解する。
	考える人になろう 「君たちはどう生きるか」「たのしい制約」 読書案内　本の世界を広げよう	1「君たちはどう生きるか」「たのしい制約」の文章を読み，筆者のものの見方や考え方を捉える。 2 文章を読んで考えたことをグループで発表し合う。
1	少年の日の思い出 別の人物の視点から文章を書き換えよう	1 作品を通読する。 2 作品の展開を捉える。 3「僕」の心情の変化をまとめる。 4 別の人物の視点から文章を書き換える。 5 学習を振り返る。
	漢字に親しもう５	1 新出漢字を確認する。 2 練習問題に取り組む。
	文法への扉３ 単語の性質を見つけよう	1 例題に取り組み，単語の性質について考える。 2　P247-250 文法 3「単語の分類」を読み，「自立語と付属語」，「活用の有無」，「品詞」，「体言と用言」について理解する。
	随筆二編	1 作品を通読する。 2 語句や表現の工夫に着目する。 3 筆者の考えや思いについて話し合う。 4 自分の体験を振り返って伝え合う。 5 学習を振り返る。
2	構成や描写を工夫して書こう 体験を基に随筆を書く	1 随筆の題材を選ぶ。 2 具体的な材料を書き出す。 3 構成を考える。 4 随筆を書く。 5 学習を振り返る。
	言葉３　さまざまな表現技法	1 導入の例を読み，表現による印象の違いを挙げる。 2　P224「言葉の並べ方の工夫」を読み，表現技法によるリズムの違いや効果について考える。 3　P225「比喩」を読み，比喩の種類による印象の違いを考える。
	漢字３　漢字の成り立ち 漢字に親しもう６	1 漢字の成り立ちについて理解する。 2 漢和辞典を利用して練習問題を解き，漢字の成り立ちを調べ，分類する。 3　P229「漢字に親しもう６」の問題に取り組む。
3	一年間の学びを振り返ろう 要点をフリップにまとめ，発表する	1 観点を決め，一年間の学習を振り返る。 2 集めた情報を整理し，発表内容を決める。 3 話の構成を考え，フリップを作る。 4 グループ内で発表する。 5 学習を振り返る
	さくらの　はなびら	1 詩を読み，印象に残った表現を発表する。 2 三つの表現の意味を考える。 3 作者の思いについて語り合う。
	学習を振り返ろう	1 説明文を読み，学習課題に取り組む。 2 方言に関するスピーチを聞き，学習課題に取り組む。 3 卒業ソングに関する新聞記事を読み，学習課題に取り組む
年間	書写	1 姿勢と用具の使い方の確認。 2 楷書で書く。基本点画を学ぶ。 3 楷書とひらがなを調和させて書く。 3 行書の特徴を理解して書く。 4 書き初めを書く。

第１学年　社会科　年間指導計画

【評価方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
方法	授業での観察　（授業に臨む姿勢、発言等） ワークシート 復習プリント スモールステップテスト 定期テスト 作品制作 長期休業明けテスト	論作文テスト ワークシート スモールステップテスト 定期テスト 復習プリント 授業での観察（授業に臨む姿勢、発言等） 長期休業明けテスト	ノートチェック プリントファイルチェック 授業での観察（授業に臨む姿勢、発言等） 作品制作 定期テスト スモールステップテスト 長期休業明けテスト

【年間指導計画】

月	単元名（題材名）	学習内容
４	持続可能な社会の実現に向けて（地理） １編１章世界の姿 １編２章日本の姿	・世界の国々や日本の都道府県をクイズで知り、かつ地球の姿を把握する。 ・世界の国々や地球上の位置、地球儀と世界地図を比較し理解する。 ・世界の略地図の描き方を習得し、日本の位置や世界との時差を理解する。 ・日本の領域の特色を知り、北方領土や竹島と尖閣諸島問題を理解する。 ・日本の都道府県を知り、日本の略地図の描き方を習得する。
５	２編１章世界各地の人々の生活と環境	・雪と氷の中、寒暖の差が激しい土地、温暖な地、常夏の島、標高の高い土地などで暮らす人々や、世界に見られる様々な気候、宗教など世界の人々の多岐多彩な生活を理解する。
６	持続可能な社会の実現に向けて（歴史） １章　歴史への扉 ２章古代までの日本	・時期や年代の表し方や歴史の流れのとらえ方を理解する。また、各時代の特色を把握し、テーマを決めて調査、発表する。 ・人類の出現と進化、古代文明のおこりと発展、中国文明の発展、ギリシャ、ローマの文明、宗教のおこりと三大宗教など原始から古代の歴史の流れを理解する。 ・旧石器時代と縄文時代の暮らしの相違を考え、弥生時代の暮らしと邪馬台国や大王の時代を理解する。
７	２章古代までの日本	・聖徳太子の政治改革から東アジアの緊張と律令国家への歩みを歴史の流れで理解する。 ・律令国家の成立と平城京、奈良時代の人々の暮らしを考え理解する。
８		・夏休み前の復習で基本的事項の定着を図る。
９	２章古代までの日本	・夏休み明けテストで復習をする。 ・天平文化や平安京と律令国家の変化、摂関政治の時代と国風文化を公家という存在から考え更に歴史の流れで理解する。
１０	地域の歴史を調べよう	・図書館や資料館、地域の方の聞き取り等の方法で、東京大空襲等の身近な地域の歴史を知り、理解する。
１１	2編2章世界の諸地域（地理）	・アジア州、アフリカ州、ヨーロッパ州の人々の生活を歴史を把握したうえで理解する。
１２	2編2章世界の諸地域	・南北アメリカ州、オセアニア州の人々の生活を他国との関係やその歴史を把握したうえで理解する。
１	３章中世の日本（歴史）	・武士の成長が、院政から武士の政権へ変化させたことを理解する。 ・鎌倉幕府の成立と執権政治の関係や、武士と民衆の生活の本質を理解する。
２	３章中世の日本	・鎌倉時代の文化と宗教の特色を平安時代と比較しながら考え、支配層が公家から武家へと変化した過程を理解する。 ・モンゴル帝国とユーラシア世界、そしてモンゴルの襲来が鎌倉幕府に与えた影響を考え理解する。
３	３章中世の日本	・南北朝の動乱と室町幕府、東アジアとの交流、産業の発展と民衆の生活を歴史の流れから考え理解する。 ・応仁の乱と戦国大名、室町文化とその広がりをこれまでの学習から歴史の流れとして理解する。 ・１年間のまとめの学習活動をする。

第１学年　数学科　年間指導計画

【評価方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
方法	定期考査 小単元テスト（スモールステップテスト） ワークシート 発表 振り返り	定期考査 小単元テスト（スモールステップテスト） ワークシート 発表 振り返り	定期考査 小単元テスト（スモールステップテスト） ワークシート、課題プリント 発表 振り返り

【年間指導計画】

月	単元名（題材名）	学習内容
4	整数の性質	・自然数，素数，素因数，素因数分解の意味 ・自然数を素因数分解すること ・累乗，指数の意味 ・自然数を素因数分解し，累乗の指数を使って表すこと ・素因数分解を使って，約数を求めること ・素因数分解を使って，最大公約数を求めること ・素因数分解を使って，最小公倍数を求めること
4 5	正の数，負の数	・正の符号，負の符号の意味 ・反対の性質や反対の方向をもつ数量を，符号のついた数を使って表すこと ・正の数，負の数の意味 ・数直線を使って正の数，負の数を表すこと ・不等号を使って，数の大小関係を表すこと ・絶対値の意味 ・絶対値と数の大小との関係
5		・正の数，負の数の加法の意味 ・同符号の 2 数，異符号の 2 数の加法 ・加法の交換法則と結合法則 ・いくつかの数の加法 ・正の数，負の数の減法の意味 ・加法に直した減法の計算 ・項の意味 ・加法と減法の混じった式の計算 ・項を並べた式の計算
5 6		・正の数，負の数の乗法の意味 ・同符号の 2 数，異符号の 2 数の乗法 ・乗法の交換法則と結合法則 ・いくつかの数の積 ・累乗の計算 ・正の数，負の数の除法の意味 ・乗法に直した除法の計算 ・乗法と除法の混じった式の計算 ・四則の意味 ・四則の混じった式の計算 ・分配法則 ・数の集合と四則計算
6		・正の数，負の数を使った課題の解決
6	文字と式	・文字を使った式の意味 ・１種類の文字を使って，数量を表すこと ・２種類の文字を使って，数量を表すこと ・文字を使った式の積の表し方 ・文字を使った式の累乗の表し方 ・文字を使った式の商の表し方 ・文字を使った式の記号×，÷を使った表し方 ・式の表し方の約束にしたがって，いろいろな数量を表すこと ・単位をそろえて数量を表すこと ・代入することの意味 ・式の値の意味 ・文字が１種類の式の値の求め方 ・文字が２種類の式の値の求め方 ・式の読みとり ・いろいろな整数の文字の表し方
7		・項，係数の意味 ・１次式の意味 ・文字の部分が同じ項どうしのまとめ方 ・１次式の加法 ・１次式の減法 ・１次式と数の乗法 ・１次式と数の除法 ・いろいろな式の計算
7		・板の枚数の求め方
7		・等式，不等式の意味 ・左辺，右辺，両辺の意味 ・等式を使って 2 つの数量の等しい関係を表すこと ・不等式を使って 2 つの数量の大小関係を表すこと
9	方程式	・未知の数量を文字を使って求める方法 ・方程式の意味 ・方程式の解の意味 ・等式の性質 ・方程式を解くことの意味 ・等式の性質を使った方程式の解き方 ・移項の意味

		・移項の考えを使った方程式の解き方 ・かっこを含む方程式の解き方 ・係数に小数や分数がある方程式の解き方 ・１次方程式の意味と解き方の手順
10		・方程式を使って問題を解決する手順 ・方程式を使った問題の解決 ・問題の答えと方程式の解 ・比の値，比例式の意味 ・比例式の性質 ・比例式を使った問題の解決
	比例と反比例	・関数の意味 ・変数，変域の意味
		・比例の意味 ・比例の式 ・比例の定義と比例定数 ・比例の式の求め方 ・平面上の点の位置の表し方 ・座標の意味 ・座標の求め方 ・座標平面上への点のとり方 ・関数 $y=ax$ のグラフ ・関数 $y=ax$ の値の変化 ・関数 $y=ax$ のグラフのかき方 ・比例のグラフからの式の求め方 ・比例における表，式，グラフの関係
11		・反比例の意味 ・反比例の式 $y=a/x$ ・反比例の定義と比例定数 ・反比例の式の求め方 ・関数 $y=a/x$ のグラフ ・反比例のグラフの特徴
		・比例の関係を使った問題の解決 ・反比例の関係を使った問題の解決 ・事象を単純にして考えた問題の解決
	平面図形	・直線，線分，半直線 ・角 ・2 点間の距離 ・2 直線の位置関係 ・点と直線の距離 ・平行な 2 直線間の距離 ・円の接線
		・垂直二等分線の意味と作図 ・角の二等分線の意味と作図 ・垂線の作図 ・垂直二等分線の作図の活用 ・角の二等分線の作図の活用 ・垂線の作図の活用 ・75°の角を作図すること
12		・移動の意味 ・平行移動の意味と性質 ・回転移動の意味と性質 ・対称移動の意味と性質 ・3 つの移動を組み合わせた移動
		・円周率πの意味 ・円の周の長さと面積 ・おうぎ形の中心角と弧の長さの関係 ・おうぎ形の中心角と面積の関係
	空間図形	・角錐と円錐 ・正多面体の意味と特徴 ・平面の決定 ・2 直線の位置関係 ・直線と平面の位置関係 ・2 平面の位置関係 ・空間での距離
1		・辺や面を垂直に動かしてできる立体 ・面を回転させてできる立体 ・見取図と展開図 ・投影図
		・角柱や円柱の体積 ・角錐や円錐の体積 ・球の体積 ・角柱や円柱の表面積 ・角錐や円錐の表面積 ・球の表面積
2	データの分析	・階級の幅の意味 ・度数分布表をヒストグラムや度数折れ線に表し，データの分布の傾向を読みとり説明すること ・同じデータを，階級の幅を変えて，その分布の傾向を読みとること ・範囲の意味 ・代表値の必要性 ・階級値を使った最頻値の求め方 ・代表値，範囲と分布のしかたの関係 ・相対度数の意味 ・相対度数を使って，2 つのデータの分布の傾向を比較すること ・累積度数，累積相対度数の意味

		・累積相対度数を使って，ある階級未満または以上の度数の全体に対する割合を求めること ・多数回の実験 ・確率の意味
		・調べたことについて，データを収集・整理し，その分布の傾向を調べ，その結果をレポートにまとめること
3	総合演習	・総合演習

第１学年　理科　年間指導計画

【評価方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
方法	・スモールステップテスト ・定期考査 ・観察・実験ワークシート ・パフォーマンステスト	・スモールステップテスト ・定期考査 ・考察プリント ・観察・実験ワークシート ・ディスカッション、発表	・授業観察 ・ノート ・考察プリント ・ディスカッション、発表

【年間指導計画】

月	単元名（題材名）		学習活動
4	単元１　いろいろな生物とその共通点	**第１章　生物の観察と分類のしかた**	・生物を観察するとき，どのような特徴に注目して，どのような方法で観察すればよいか考える。 ・**観察１**　身近な生物の観察 ・生物を分類するとき，どのような特徴に注目して分類することができるか考える。 ・**実習１**　さまざまな生物の分類
5		**第２章　植物の分類**	・植物を分類するときには，どのような共通点や相違点に注目すればよいか考える。 ・実や種子は，花のどのつくりと関係しているか調べる。 ・**観察２**　実や種子をつくる花のつくりと変化 ・果実をつくらない植物には，果実をつくる植物と比べると，どのような特徴があるか考える。 ・種子をつくらない植物のからだのつくりとふえ方には，どのような特徴があるか調べる。 ・**観察３**　シダ植物のからだのつくり ・植物を分類するときに注目する特徴を図や表にまとめる。
6		**第３章　動物の分類**	・動物を分けるとき，どのような共通点と相違点に注目すればよいか考える。 ・**観察４**　動物のからだのつくり ・セキツイ動物はどのようなグループに分類できるか考える。 ・無セキツイ動物は，からだにどのような特徴があり，どのように分類できるか考える。 ・**観察５**　無セキツイ動物のからだのつくり
			・どのような表や図をつくると，動物を適切に分類できるか考える。
7	単元２　身のまわりの物質	**第１章　身のまわりの物質とその性質**	・物体が何という物質でできているかを見分けるには，どのような方法があるか考える。 ・金属と非金属との性質のちがいを調べる。 ・**実験１**　金属と非金属のちがい ・さまざまな金属を見分けるには，どうしたらよいか考える。 ・**実験２**　密度による金属の区別 ・見ただけでは見分けにくい粉末状の物質の種類を知るには，どのようにしたらよいか考える。 ・**実験３**　白い粉末の区別
		第２章　気体の性質	・身のまわりの気体にはどのような性質があるか調べる。 ・**実験４**　二酸化炭素と酸素の性質 ・気体の性質によって，気体の集め方はどのように変えたらよいか考える。
9		**第３章　水溶液の性質**	・物質が水にとけるとは，どのようになることか考える。 ・水にとけている溶質をとり出すため，水を蒸発させる以外にどのような方法があるか調べる。 ・**実験５**　水にとけた物質をとり出す
10		**第４章　物質の姿と状態変化**	・身のまわりの物質も水のように姿を変えるか考える。 ・物質が状態変化するとき，体積や質量はどうなるか調べる。 ・**実験６**　ロウの状態変化と体積・質量の変化 ・液体どうしが混じり合った混合物を分けるには，どのようにすればよいか調べる。 ・**実験７**　混合物の分離
	単元３　身のまわ	**第１章　光の世界**	・物体を見ることができるとき，光はどのように目に届いているか考える。 ・光が鏡などの物体で反射するとき，光はどのように進むか調べる。 ・**実験１**　鏡で反射する光の道筋 ・光が透明な物体を通りぬけるとき，光はどのように進むか調べる。 ・**実験２**　直方体のガラスを通りぬける光の道筋

月	単元名（題材名）		学習活動
			・凸レンズによる像のでき方には，どのような決まりがあるか調べる。 ・**実験３**　凸レンズによる像のでき方
11		**第２章　音の世界**	・振動している物体から出ている音は，どのように伝わるか考える。 ・音の大きさや高さと音源の振動には，どのような関係があるか調べる。 ・**実験４**　弦の振動による音の大きさと高さ
		第３章　力の世界	・力は，どのようなはたらきをするか考える。 ・ばねを引く力とばねののびには，どのような関係があるか調べる。 ・**実験５**　力の大きさとばねののびの関係
12			・物体にはたらく力は，どのように表すことができるか考える。 ・2 つの力が 1 つの物体にはたらいているのに物体が動かないとき，2 つの力にはどのような関係があるか調べる。 ・**実験６**　1 つの物体にはたらく 2 つの力
1	単元４　大地の変化	**第１章　火をふく大地**	・身近な地形や地層，岩石を観察し，その特徴を記録する。 ・**観察１**　身近な地形や地層，岩石の観察 ・マグマの性質と火山の形のどんな関係があるのか考える。 ・火山灰がどのような物でできているのか調べる。 ・**観察２**　火山灰にふくまれる物 ・火成岩の色やつくりについて調べ，ちがいがなぜ生じるか考える。 ・**観察３**　火成岩の観察 ・火山とともにくらすために，大切なことは何か考える。
2		**第２章　動き続ける大地**	・震源で発生したゆれが，どのようにして伝わるか調べる。 ・**実習１**　地震の波の伝わり方 ・地震は，どのようなところでどのようにして起こるか考える。 ・地震によって起こる被害を最小限におさえるためにはどのようなことが必要か考える。
3		**第３章　地層から読みとる大地の変化**	・れき，砂，泥がどのようにして地層をつくるか考える。 ・それぞれの堆積岩にどのような特徴があるか調べる。 ・**観察４**　堆積岩の見分け方 ・地層や化石から，どのようなことがわかるか考える。 ・海底でできた地層が見られる山脈や山地は，どのような力でつくられるか考える。 ・地層から大地の歴史を知るには，どのようなことを調べてまとめればよいか考える。 ・**観察５**　身近な地層で調べる大地の歴史

第１学年　音楽科　年間指導計画

【評価方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
方法	実技試験 授業内ワークシート ペーパーテスト 授業での様子	実技試験 授業内ワークシート ペーパーテスト 授業での活動	振り返りシート 授業内の活動 授業内ワークシート 作品

【年間指導計画】

月	単元名（題材名）	学習内容
4	○校歌を覚えよう 「校歌」	・校歌の音取りを行う。 ・校歌の音楽的特徴や歌う意味についてグループで考え、校歌に親しむ態度を養う。
	○正しい発声で明るく歌おう 「We’ll find the　way」	・正しい発声の仕方や呼吸の方法について学ぶ。 ・We’ll　find the way の音取りを行い、２つのパートに分かれて歌わせる。 ・２部合唱について理解し、歌うことの楽しさについて理解させる。
5	○曲想の変化を感じ取ろう 「春」	・「春」第一楽章を聴いて、ソネットがどの部分を表しているかについて考える。 ・作曲者、ソネット、リトルネッロ形式について学ぶ。 ・ソネットと音色の関わりについて聴き取る。 ・ヴィヴァルディの四季を聴き比べ、自分が好きな曲について言葉にして書く。
	○混声合唱の特徴を生かして歌おう 「朝の風に」	・男声と女声に分かれて音取りを行う。 ・混声合唱や変声期について学ぶ。 ・混声合唱の特徴を生かして、曲に合った声で歌う。
6	○伴奏や旋律の関わりを意識して歌おう 「浜辺の歌」	・浜辺の歌の音取りを行う。 ・作詞作曲者や、歌詞の意味、表現記号について学ぶ。 ・伴奏や旋律と歌詞の関わりについて知覚し、どのように歌うと良いか工夫について考える。 ・８分の６拍子について触れ、表現の工夫を生かして歌う。
7 8 9	○合唱コンクールの選曲、練習 自由曲 全体合唱	・合唱コンクールで歌う自由曲を聴き比べて選曲を行う。 ・パート練習の方法について確認し、パートごとに音取りを行う。正確な音程、リズムで歌う。 ・パート練習の最後に振り返りを行い、毎回記録をする。また、授業の始めにパートで話し合いを行い、目標立てを行う。 ・パートの役割について理解し、強弱や表現の仕方など歌い方を工夫する。

１０		・他のパートを意識して、ハーモニーの重なり合いを意識して合唱する。
１１	○情景を思い浮かべながら、思いをこめて歌おう 「赤とんぼ」	・赤とんぼの音取りを行う。 ・作詞作曲者や曲の歌詞の意味、曲の背景について学ぶ。 ・作曲者の思いや情景を踏まえながら、どのように歌うかについて考え、実践する。
	○和太鼓の響きを味わおう 「江南屋台囃子」	・和太鼓の構造や奏法について理解をする。 ・口唱歌について学び、奏法を守りながらリズムの練習を行う。 ・秩父屋台囃子の鑑賞をし、音楽のリズムや楽器の音色、特徴を聞き取る。 ・グループで江南屋台囃子を練習し、良い音で叩く工夫や表現の方法について考えさせる。 ・グループで発表を行う。
１２	○詩の内容と曲想との関りを感じ取ろう 「魔王」	・魔王を聴き、ドイツリートについて理解する。 ・作曲者について理解を深める。 ・歌詞を朗読し、内容を理解させる。 ・歌詞と声色やピアノ伴奏の関わりについて聴き取らせる。 ・習った内容を生かし、紹介文を書く。
	○アジア諸民族の音楽について知ろう	・アジア諸民族の音楽について鑑賞を行い、日本とアジアの音楽の共通点や相違点を感じ取る。 ・自分が調べたいアジアの国を一つ取り上げ、その国の伝統音楽についてタブレットや本を利用して調べ、まとめる。
1	○曲を作ろう	・音符の長さについて理解をする。 ・言葉とリズムの関わりについて意識させ、言葉を使った短いリズムを作る。 ・言葉のアクセントと音の高さの関係を意識させ、短い旋律を作る。 ・グループでテーマを決め、テーマに合った曲を作って表現する。
2	○アルトリコーダーの響きを味わおう 「喜びの歌」	・アルトリコーダーの楽器の構造や奏法について学ぶ。 ・運指やリズムの練習を行い、１曲吹けるようにする。 ・表現の工夫を考えて演奏する。 ・習熟度に合わせて曲のレパートリーを増やしていく。
3	○式歌（卒業式、入学式） 「校歌」 「わが街足立」 「変わらないもの」など その他	・式歌のパートを決めて、パートごとに音取りを行う。区歌はピアノ伴奏で音取りを行う。 ・歌詞から情景を思い浮かべ、曲に合った表現方法を工夫する。

第１学年　美術科　年間指導計画

【評価方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
方法	定期考査 作品 作品説明プリント	定期考査 作品 レポート 作品説明プリント プリント（鑑賞） アイディアスケッチ、下絵	授業態度……学習をすすめる中で身の回りのものに興味関心を持ち、制作への意欲へとつなげられる。作品へのまじめな姿勢。 提出物、授業準備、机上の整頓、発表

【年間指導計画】

月	単元名（題材名）	学習内容
4	「美術」とは何だろう	・中学校の美術の 学習と社会との関連性や、美術の 学習活動の目的や意味を考え、美術の学習に意欲的に取り組めるよう にする。
5	知識・基礎①「デザイン基礎」	・教材の特性を知り、自分の意図した作品につなげられる。
6	知識・基礎②「色彩基礎」	・色の基礎（色の三要素）の存在を知り、日常の中の色彩効果や組み合わせを学ぶ。
	知識・基礎③「色彩構成」	・テーマのイメージに合った色彩構成をし、他者に伝える。
	知識・基礎④「レタリング」	・美しく、読みやすい文字をデザインするレタリングの機能を知り、明朝体とゴシック体について特徴を理解する。
	～鑑賞・知識～ 「東京都の美術について」	・伝統工芸品や著名な芸術家の作品を鑑賞し、時代背景や作品の暗示を読み解く面白さを味わう。
7 8	～デザイン～ 視覚伝達「ポスター」　　（キャリア教育）	・伝達機能としてのデザインの役割を知り、テーマを図案化する。 ・知識として得た色の効果を考え、平塗りの技能を生かし、美しく平面制作を行う。 ・社会の諸問題について考えることは、これに参画している一員として自覚を促す。 ・人に訴えかけるメッセージを作品に託すことで自らの意見を他者に表明、表現させる。またお互いの作品を鑑賞しながら自分の言動が他者の与える影響について理解することや、双方の個性を尊重させる。
9	～絵画～ 知識・基礎⑤「クロッキー」	・一番身近な描画材を使い、基本的な技術やものの形や動きをよく観察して描く。 ・鉛筆の特性を理解し、多様な表現を追求するとともに心情の表現や感情を線や形で表現していく。
１０	～デザイン～ ・モダンテクニック 『表現演習』	・マーブリング、スッパタリング、ドリッピング、デカルコマニー、にじみ、フロッタージュ、スクラッチなどを行う。プリントに６種類をまとめ、自分の資料にしていく。

１１ １２	～彫刻～ ・塑造 コラージュボックス	・クロッキー、マーブリング、スッパタリング、ドリッピング、デカルコマニー、にじみ、フロッタージュ、スクラッチなどを活用して、自分の世界を工夫して、立体による表現をする。
 1 2	～工芸・鑑賞～ 生活を彩る「和の連続文様」	・日本の伝統文様の成り立ちを知ることで、興味をもち、自分の作品のイメージや発想へつなげる。 ・生活の中で彩られる工芸品の存在や意味を知り、自分の身近なものへの関心を深める。 ・連続文様の特徴やよさを活かし、文様単体と連続の場合の見方や感じ方の違いを考え、工夫し発想する。 ・日本をイメージした、自分オリジナルの連続文様を考える。
3	～工芸・デザイン～ 蒔絵	・日本の伝統工芸の歴史、種類などを理解し、表現方法を学び、作品の発想へつなげる。 ・世界に一つしかないデザインを考え併せ、心を込めて制作する。 ・生活の中の造形や美術の働き、美術文化に関心をもって、生涯にわたり美術活動を継続する心を耕す。 ・生活を美しく豊かにする美術の働きを理解する。
	～鑑賞～「仲間の作品の相互評価」	・仲間の作品のよいところを見つけ、メッセージカードを書き、伝える。

第１学年　技術科　年間指導計画

【評価方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
方法	授業観察、ワークシート、課題製作品 定期考査、確認テスト、レポート 実技テスト	授業観察、ワークシート、定期考査 課題製作品、レポート、発表	授業観察（課題解決に主体的に取り組み、改善・工夫し、実践しようとしている態度） レポート、発表

月	単元名（題材名）	学　習　内　容
4	技術分野ガイダンス	・身の回りの製品に込められた技術の工夫やアイディアを調べ、発表する。 ・技術の発達による生活や産業の変化を調べる。 ・身の回りの製品などを「技術の見方・考え方」の視点で観察する。 ・PDCA サイクル沿って問題解決を行うことを確認するとともに、社会における問題解決も同様の流れであることを知る。 ・３年間の学習内容を確認し、技術分野の学習を生かして生活に関連づけていく意識を持たせる。
	1-1 材料と加工の技術の原理・法則の仕組み ①身の回りの材料と加工の技術	・身の回りの製品を見て、なぜその材料が使われているかを考える。 ・身の回りの製品に使われている材料と加工の技術について調べる。
5	②木材、金属、プラスチックの特性	・木材、金属、プラスチックの特性について調べる。 ・木材、金属、プラスチックがどのような製品に利用されているかをまとめる。
	③材料に適した加工法	・工具や機器を加工の特性や方法に応じて分類する。 ・材料と目的に応じた工具や機器を選択する。 ・工具や機器を安全に使用する方法や技術室での安全な作業をするための決まりを知る。
	④丈夫な製品を作るために	・製品を丈夫にするための材料と加工の技術の工夫について調べる。 ・部材の組み合わせや接合の方法などを工夫して製品を丈夫にする方法を考える。
6 ～	⑤材料と加工の技術の工夫を読み取ろう	・材料と加工の技術に込められた問題解決の工夫について考える。 ・身近な製品の問題解決の工夫などから「技術の見方・考え方」についてまとめる。
7	1-2 材料と加工の技術による問題解決 ①問題を発見し課題を設定しよう	・身近な生活や学校などで、材料と加工の技術によって解決できる問題を見つける。 ・発見した問題を解決するための課題を設定する
	②製作品を構想し、設計しよう	・課題を解決するために、使用目的や使用条件に合わせて、製作品の構想を具体化する。 ・機能の検討、材料の検討、構造の検討、加工方法の検討をする。 ・製作に必要な図に表す。
	③製作の計画を立てよう	・製作に必要な図を基に、部品表、材料取り図を作成し、製作に必要な材料を準備する。 ・製作工程表を作成する。 ・工程ごとに使用する工具や機器を調べる。
9 ～ １１	④作業手順を考えて製作しよう	・切り代や削り代を見込んで、仕上がり寸法線と切断線をけがく。 ・材料の切断線にしたがって切断する。 ・寸法線にしたがって加工する。 ・加工後、検査、修正し、仮組み立てをする。 ・組み立てをする。組み立て後、検査・修正する ・素材や用途に合った表面処理をする。

	単元名（題材名）	学　習　内　容
１１	⑤問題解決の評価、改善、修正	・材料の加工の技術による問題解決を振り返り、解決結果及び解決過程を評価し、改善・修正する方法について考える。
１２	1-3 発展と材料と加工の技術 ①材料と加工の技術の最適化	・自分の問題解決における最適化の場面を振り返り、社会の問題解決における最適化と比較する。 ・社会からの要求、安全性、環境への負荷、経済性について比較する。
	②これからの材料と加工の技術	・持続可能な社会の構築のために、これからの材料と加工の技術について考える。
1	4-１情報の技術の原理・法則と仕組み ①情報の技術とは何だろう	・生活や社会、産業のさまざな場面でコンピュータなどの情報の技術が利用されていることを知る。 ・コンピュータを構成するハードウェアとソフトウェアについてまとめる。
	②情報のデジタル化	・コンピュータは全ての情報を数値化して処理していることを知る。 ・情報のデジタル化の方法をまとめる。 ・画像をデジタル化する方法やデータ量との関係についてまとめる。
	③情報通信ネットワークの仕組み	・情報通信ネットワークの仕組みについてまとめる。 ・情報通信ネットワークを使って情報をやりとりする仕組みについて知る。
2	④安全に利用するための情報モラル	・情報の特性について考え、情報が社会に与える影響について調べる。 ・望ましい情報社会のための態度について考える。
	⑤安全に利用するための情報セキュリティ	・情報セキュリティを実現するための３つの要素（機密性、完全性、可用性）を知る ・情報通信ネットワークにおけるサイバーセキュリティの重要性について考える。 ・セキュリティ対策のためのソフトウェアやシステムがあることを知る。
	⑥情報の技術の工夫を読み取ろう	・情報の技術に込められた問題解決の工夫について考える。 ・身近なシステムや自動化の技術の問題解決の工夫などから、「技術の見方・考え方」について気付いたことをまとめる。
3	4-2　双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決 ①双方向のあるコンテンツのプログラミングとは何だろう	・双方向性のあるコンテンツにはどのようなものがあるか調べる。 ・双方向性のあるコンテンツの基本的な仕組みについて考える。
	②問題を発見し、課題を設定しよう	・双方向性のあるコンテンツのプログラミングによって解決できる問題を見つける。 ・発見した問題を解決するための課題を設定する。
	③コンテンツを構想しよう	・問題を解決するためのコンテンツに必要な情報を収集し、解決策を具体化する。（構想の具体化、情報処理の手順の整理、必要な機能の整理）
	④コンテンツのプログラムを制作しよう	・安全で適切なプログラムの制作と動作の確認、デバッグを行う。 ・使用する人のことを考えてプログラムを制作する。
	⑤問題解決の評価、改善、修正	・双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決を振り返り、解決結果及び解決過程を評価し、改善・修正する方法について考える。

第１学年　家庭科　年間指導計画

【評価方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
方法	授業観察 定期考査・小テスト 提出物 作品 実技テスト	授業観察 提出物 作品 レポート 発表	授業観察 提出物 ノート レポート 発表

【年間指導計画】

月	単元名（題材名）	学習内容
4	家庭分野のガイダンス	・自分の成長を振り返り，自分の成長や生活は家族やそれに関わる人々に支えられていることに気づく。 ・これまでの家庭生活や小学校家庭科の学習内容を振り返る。 ・中学校での学習内容に興味を持ち，３学年間の学習の見通しを持つ。 ・各内容と家族・家庭の基本的な機能が関連していることに気づく。
5	１編１章　食事の役割と中学生の栄養の特徴 ①　どうして食事をするのだろう ②　私たちの食生活 ③　栄養素ってなんだろう ④　中学生に必要な栄養	・食事の役割についてまとめる。 ・食生活を点検し課題を見つけ、健康に良い食習慣について考える。 ・栄養素の種類と働きや体内での水の働きをまとめる。 ・中学生に必要な栄養の特徴について考える。
6	１編２章　中学生に必要な栄養を満たす食事 ①　食品に含まれる栄養素 ②　何をどのくらい食べればよいか	・食品成分表を使い、身近な食品の栄養的な特徴を調べ、可食部１００ｇと１回に食べやすい量に含まれるカルシウムの量の違いを把握する。 ・身近な食品を栄養的な特徴により６つの食品群に分類し、食品群別摂取量の目安と１日に必要な食品の種類と概量を知る。
7	③　バランスの良い献立作り	・中学生に必要な栄養を満たす１日分の献立を考える。
9	１編３章　調理のための食品の選択と購入 ①　食品の選択と購入 ②　生鮮食品の特徴 ③　加工食品の特徴 ④　食品の保存と食中毒	・食品を選択する観点について知り、食品の表示について調べまとめ、用途に応じた食品の選択について考える。 ・生鮮食品の特徴と表示の内容、品質の見分け方を知る。 ・加工食品の特徴と表示の内容、品質の見分け方を知る。 ・食品のさまざまな保存方法を知り、食中毒の防止について考える。
１０	１編４章　日常食の調理と地域の食文化 ①　日常食の調理	・献立を決め，食品の調理上の性質を生かした調理の要点をまとめる。 ・調理に必要な手順や時間を考え，調理計画を工夫する。 ・調理実習の準備をする。 ・安全と衛生に気をつけて調理をする。 ・試食をする。 ・後かたづけをする。
１１		・調理実習の反省をし，評価をする。
１２	②　野菜・いもの調理 ③　肉の調理 ④　魚の調理 ⑤　日本の食文化と和食の調理 ⑥　持続可能な食生活を目指して	・野菜・いもの調理上の性質を知り、安全と衛生に気をつけて野菜・いもの調理をする。 ・肉の調理上の性質を知り、安全と衛生に気をつけて肉の調理をする。 ・魚の調理上の性質を知り、安全と衛生に気をつけて魚の調理をする。 ・地域の食材や季節の食材、地域の食文化について調べる。 ・地域の食材を用いた和食の調理をする。
1		・食生活を取り巻く問題を把握し，持続可能な食生活のためにできることを考える。
2		
3	生活の課題と実践	・学習してきたことを生かし，改善する点や課題はないか，自分や家族の食生活を見直す。 ・課題を解決したり，より豊かな生活にしたりするための工夫を考え，計画を立て実践する。 ・立てた計画をグループで発表し合い，計画を見直す。 ・各自で実践したことをまとめ，発表し合う。

第１学年　保健体育科　年間指導計画

【評価方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
方法	学習カード スモールステップテスト 定期考査 授業観察 実技テスト 発表会	学習カード 定期考査 スモールステップテスト 授業観察	学習カード 定期考査 スモールステップテスト 授業観察

【年間指導計画】

月	単元名（題材名）	学習内容
4	体つくり運動	体ほぐしの運動 集団行動 体力を高める運動
	ダンス	フォークダンス
5	陸上競技	短距離走、リレー
6	陸上競技	ハードル走
	体つくり運動	体力を高める運動 体力テスト
7	水泳	クロール、平泳ぎ、背泳ぎ
9	水泳	クロール、平泳ぎ、背泳ぎ
	器械運動	マット運動、鉄棒運動
１０	球技（ネット型）	バレーボール
１１	陸上競技	長距離走
１２	武道	剣道
１、２	球技（ベースボール型）	ソフトボール
	体育理論	運動やスポーツの多様性
２、３	球技（男子：ゴール型）	サッカー
通年	保健	健康な生活と疾病の予防⑴、心身の機能の発達と心の健康

第１学年　英語科　年間指導計画

【評価方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
方法	・ペーパーテスト （スモールステップテスト、定期考査、小テスト等） ・パフォーマンステスト （やりとり、発表等） ・単元リテリング、スキット	・ペーパーテスト （スモールステップテスト、定期考査、小テスト等） ・パフォーマンステスト （やりとり、発表等） ・ペア活動 ・単元リテリング、スキット ・授業内の活動	・ノート ・ペーパーテスト （スモールステップテスト、定期考査、小テスト等） ・パフォーマンステスト （やりとり、発表等） ・振り返りシート ・授業内の活動 ・授業内のプリント

【年間指導計画】

月	単元名（題材名）	学習内容
4	Unit 0 Welcome to Junior High School	・小学校で習った表現を使ったり、単語を読んだり書き写したりする。
	学び方コーナー①	・英和辞書の見出し語配列について知り、基本的な使い方を理解する。
	Unit 1 New School, New Friends	・自分がふだんよくすることや、できることを伝えたり、相手に質問したりする。 ・I am …., I like …., Are you …?, Do you …?, can の文の使い方を理解し、適切に使用する。
5	Unit 2 Our New Teacher	・身近な人やものについて紹介したり、たずねたりする。 ・This [That, He, She] is …. , Is that [this] …?, What …?, Who …?, How do you …? , What do you …? 表現の使い方を理解し、適切に使用する。
	Grammar for Communication 1	・be 動詞と一般動詞を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。
	学び方コーナー②	・つづりと発音の関係を理解し、知らない単語の読み方を推測する。
	Unit 3 Club Activities	・いつ・どこなのかをたずねたり、数をたずねたりする。 ・したいことや夢について伝え合う。 ・Where …?, When …?, I want to …., How many …? 表現の使い方を理解し、適切に使用する。
	Grammar for Communication 2	・名詞の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。
6	Unit 4 Friends in New Zealand	・相手に指示したり、時刻や好きなものをたずねたりする。 ・命令文（Come [Be, Don't] ….）, What time …?, What＋名詞 …? 表現の使い方を理解し、適切に使用する。
	Grammar for Communication 3	・疑問詞を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。
7	Unit 5 A Japanese Summer Festival	・行った場所や、そこで楽しんだことなどについて話す。 ・前置詞（… is by the bench. / the bench under the tree）, like …ing, be good at …ing, enjoyed, went, ate, saw, had, was の使い方を理解し、適切に使用する。
	Stage Activity 1 “All about Me” Poster	・自分の好きなことについて、つながりのある文章を書く。
9	Small Talk! 1	・即興で対話をする。
	Unit 6 A Speech about My Brother	・自分と相手以外の人やものなどについて、たずねたり伝えたりする。 ・一般動詞三人称単数現在形、肯定文、否定文、疑問文の使い方を理解し、適切に使用する。
１０	Let's Talk 1 お願い	・身近な人に許可を求めたり、依頼したりする。 ・Can I …?, Can you …? 表現の使い方を理解し、適切に使用する。
	学び方コーナー③	・英和辞書から英文に合った単語の意味を見つけるための使い方を理解し、適切に使用する。
	Grammar for Communication 4	・三人称単数現在形を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。
	Unit 7 Foreign Artists in Japan	・自分と相手以外の人について話したり、どちらなのか、だれのものかをたずねたりする。 ・人称代名詞の目的格、Which …? , Whose …?, mine, yours の使い方を理解し、適切に使用する。
	Let's Talk 2 体調	・相手の体調についてたずねたり、自分の体の不調について説明したりする。 ・What's wrong?, I have …. 表現の使い方を理解し、適切に使用する。
	Let's Listen 1 留学生のプロフィール	・人に関する紹介を聞いて、基本情報やその人がどのような人かを理解する。
	Grammar for Communication 5	・代名詞の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。
１１	Unit 8 A Surprise Party	・今していることについて説明したり、たずねたりする。 ・自分の気持ちを伝えるために、感動や驚きを表現する。 ・現在進行形、"When …?, "Which …?, 感嘆文（How …!, What …!）の使い方を理解し、適切に使用する。
	Let's Write 1 お祝い	・目的に合わせたカードを書く。
	学び方コーナー④	・英語の子音の文字と音との関係を知り、英語らしい発音をする。
	Grammar for Communication 6	・現在進行形を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。
	Unit 9 Think Globally, Act Locally	・したいことや、する必要のあることなどについて説明したり、たずねたりする。 ・人やものの様子を説明するために、視覚的な判断を伝える。 ・.want [try, need など] to, look＋形容詞 表現の使い方を理解し、適切に使用する。
１２	Let's Listen 2 欠席した友達への電話連絡	・友達にあとで伝えるべき情報を聞き取る。 ・助動詞 can, need to の使い方を理解し、適切に使用する。
	Stage Activity 2 My Hero	・好きな有名人やあこがれの人についてたずねたり，説明したりする。
	Let's Read 1 Let's Climb Mt. Fuji	・図や表などの情報を参考に，書き手の考えを読み取る。
1	Small Talk! 2	・即興で対話をする。

	Unit 10 Winter Vacation	・過去の出来事について説明したり、たずねたりする。 ・一般動詞過去形の肯定文、疑問文、否定文の使い方を理解し、適切に使用する。
2	Unit 11 This Year's Memories	・過去の状態や気持ち、過去のある時点にしていたことについて説明する。 ・一般動詞の過去形、be 動詞の過去形、There is [are] …, 過去進行形の使い方を理解し、適切に使用する。
	Let's Talk 4 レストラン	・レストランなどで、注文をしたり質問に答えたりする。
3	Let's Listen 3 ラジオ DJ のトーク	・休暇の思い出など日常的な話を聞いて、主な内容を聞き取る。
	Grammar for Communication 7	・過去形と過去進行形を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。
	Stage Activity 3 My Favorite Event This Year	・思い出に残った学校行事について発表する。
	Learning *LITERATURE* in English	・英語で書かれた文学作品を聞いて話の概要を捉え、物語の構成を理解する。
	Let's Read 2 City Lights	・物語を読んで、場面の変化や登場人物の心情などを理解する。